



七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

No. 13

平成22年11月15日

文化祭 大成功

10月30日(土)の前日祭、31日(日)の一般公開の日程で今年度の文化祭が開催されました。台風の直撃は免れたものの雨模様の天気で、果たしてお客さんにどのくらい来ていただけるか心配でしたが、約百人の方にお出でいただいたようです。例年屋外ステージで演奏している芸能クラブや総合音楽は今年は教室内の演奏に各売店の売れ行きも上々で大成功の文化祭でした。



半澤 裕一 (3年 白石東中出身)

文化祭は、風邪引いて休んだので、準備のことを書きます。

それは、たいへんな作業でした。最初、中間試験が終わって、白石城に行きました。バカ殿の衣装に着替え、いざ白石城に入ったとき、本当に、このかっこうで入っていいのかと思いました。なぜなら、それは、見た目で笑うようなかっこうだったからです。そして、撮影に入りました。そしたら、一般の人に、どこの学校の人ですかと聞かれて、白石高校七ヶ宿校と答えました。ほかにも、「すご



いメイクだね」とか、「本当のバカ殿?」とか言われて、説明するのがたいへんでした。いろいろ撮影していると、「この場所でジャンプしても、床は壊れないであろうか」と迷いつつ、その演技をしました。すごく疲れたけど、最後のシーンは、腰をいためるほど痛かった。私の演技はけがの元です。

演技以外にも撮影の仕事がありました。いろいろなシーンを撮影するのは疲れたけど、ちゃんととれて良かった。

あと、ブルーレイレコーダーの複雑なセッティングしないといけなくなり、疲れないと保証できないぐらいでした。

「七校の一年」の編集も残っており、みじめなほど頑張りました。それこそ遅くまで残って作業をし、風邪を引いても、なお、頑張っていました。必要なシーンをたくさんのビデオから探すだけでも大変なのに、それを探して、パソコンに入れて、編集して、の繰り返しは、すごく疲れる仕事+目が痛くなり、やばいなかで、完成させました。

最後に、私は激しいハードな誰もやろうともしない仕事は好きですが、寒い中で作業をしたいと思いません。だけど、「まかされた作業は、必ず最後まで、やり通す」、それが俺流のやり方で、今年度の文化祭も遂行しました。

きれいな紅葉のもと 新コースで強歩大会

11月5日（金）ちょうど見頃を迎えてきれいな紅葉に彩られたダム湖畔で強歩大会が行われました。今年度はバス路線の変更に伴い、強歩大会のコースも変更され、ダム管理所を出発して、ダム堤体の上を走り、ダム公園にゴールするコースになりました。昨年までのコースより2km近く短くなりましたが、後半は長い登り坂が続くようになりました。



午前9時10分号砲とともに参加生徒35名が一斉にスタートし、記録を目指して最初から勢いよく飛び出していくグループ、マイペースでゆっくり紅葉とおしゃべりを楽しみながら歩いていくグループ等々、各人それぞれにゴールを目指しました。

トップでゴールしたのは、3年生の我妻直人君で、時間は35分50秒でした。コースが変更になったため、この記録が新記録となり、来年以降の目標タイムとなります。

また、途中怪我等で落伍する者もなく全員が無事ゴールしました。最終ランナーの記録は、1時間23分でしたが、これは先生方の予想をはるかに上回る好タイムでした。



全員がゴールした後は、時間に余裕がありましたので、水と歴史の館も見学させていただきました。そして最後は先生方が用意した温かい豚汁とお弁当を全員でいただいて強歩大会が無事終了しました。

